

平成21年7月21日

兵庫県知事 井戸 敏三 様

公共事業等審査会  
会長 朝日 稔



### 公共事業等審査会の審査結果について

公共事業等審査会は、平成21年6月18日に、兵庫県知事から審査依頼を受けた投資事業評価要綱第2条第1号の新規事業に係る審査案件4件について、投資効率や実施過程の透明性の一層の向上を図るため、事業の必要性、有効性・効率性、環境適合性、優先性の観点から慎重に審議を行った。

その結果、新規事業4件について「新規着手」することが妥当と判断した。

事業の実施にあたっては、下記の審査結果並びに審査時の意見を十分に尊重し、効果的で効率的な公共事業の推進に努められたい。

### 記

#### 1 道路事業

##### (1) (国) 179号 徳久バイパス (佐用町)

国道179号は、姫路市を起点として、岡山県から鳥取県へ至る兵庫県西部の広域的な連携を支える幹線道路である。JR姫新線播磨徳久駅前に位置する当該事業区間は、大きく屈曲した徳久駅前交差点付近での交通渋滞や交通事故の解消等が課題となっている。当該事業は、これらの課題の対策として、現道拡幅案、小規模バイパス案、トンネルを含むバイパス案を比較検討した結果、経済性、安全性等の観点からバイパス案による整備を図るものである。当該バイパスの整備により、通過交通が現道からバイパス部分へ転換するため、上記課題の解消や沿道住民の安全確保、老朽化した太田井橋の架け替えによる緊急輸送道路としての機能強化等の十分な効果が見込まれることから、事業着手は妥当である。

なお、当該バイパスや旧道となる現道のバイパス供用後の利用状況を見ながら、歩行者及び自転車利用者に対する安全対策に十分配慮されたい。

## **(2) (主) 篠山山南線 川代トンネル (篠山市)**

当該道路は、篠山市中心部と丹波市山南町を結ぶ丹波地域南部の東西交流連携軸である。当該事業区間は、両市境付近の篠山川沿いの山間狭隘地に位置しており、地形的制約から幅員狭小で線形も悪く、過去から何度も山腹斜面の崩壊による通行止めが発生するなど、防災上大きな課題を有している。大半がトンネルとなるバイパスを整備することで、自然災害に対する安全性の向上、交通の円滑化等の効果が見込まれることから、事業着手は妥当である。

なお、地質が複雑な場所での事業となることから、事前に詳細な地質調査を行った上で、適切な設計を行うよう努められたい。

## **2 街路事業**

### **(3) (都) 園田西武庫線 (藻川工区) (尼崎市)**

当該道路は、尼崎市北部における東西方向の幹線道路であり、大阪府域で内環状線と接続し、広域的なネットワークを構築する重要な役割を担っている。しかし、藻川を挟む当該区間及び現在事業中の御園工区が未開通であることから、周辺道路での慢性的な交通渋滞や歩行者・自転車利用者等の安全確保が大きな課題となっている。事業実施により、これらの課題解消や地域の活性化等の効果が見込まれることから、事業着手は妥当である。

なお、十分な事業効果を発揮させるため、御園工区とあわせて同時期に供用できるように努められたい。

また、供用後は多くの自転車利用が見込まれることから、歩行者と自転車の接触による事故防止等にも十分配慮し、より安全で快適な歩行者及び自転車利用者のための空間の創出に努められたい。

あわせて、実施にあたっては、橋梁の取付部において、地域が南北方向に分断されないよう設計に配慮されたい。

## **3 県営住宅整備事業**

### **(4) 伊丹野間住宅建設事業 (伊丹市)**

当該県営住宅は、築後41年を経過しており、耐震性、建物・設備の老朽化、狭小な住戸等の課題を有している。当該事業は、耐震性能、防災・防犯機能及び居住水準の向上を図るとともに、時代の要請するユニバーサルデザインや環境配慮の視点も加味しながら建て替えを実施するものである。加えて、多世代共生に対応できるよう世帯構成に応じた住戸を供給するとともに、新たなコミュニティづくりに向けて、周辺住民とともに利用できるコミュニティプラザを配置する計画となっており、事業着手は妥当である。

なお、今後は、住宅の長寿命化に必要な維持管理の方策を検討するなど、ストックの更なる有効活用にも努められたい。